



神社・寺の旅

～in佐久市～



目次

参拝方法・神社、寺の違い・1p

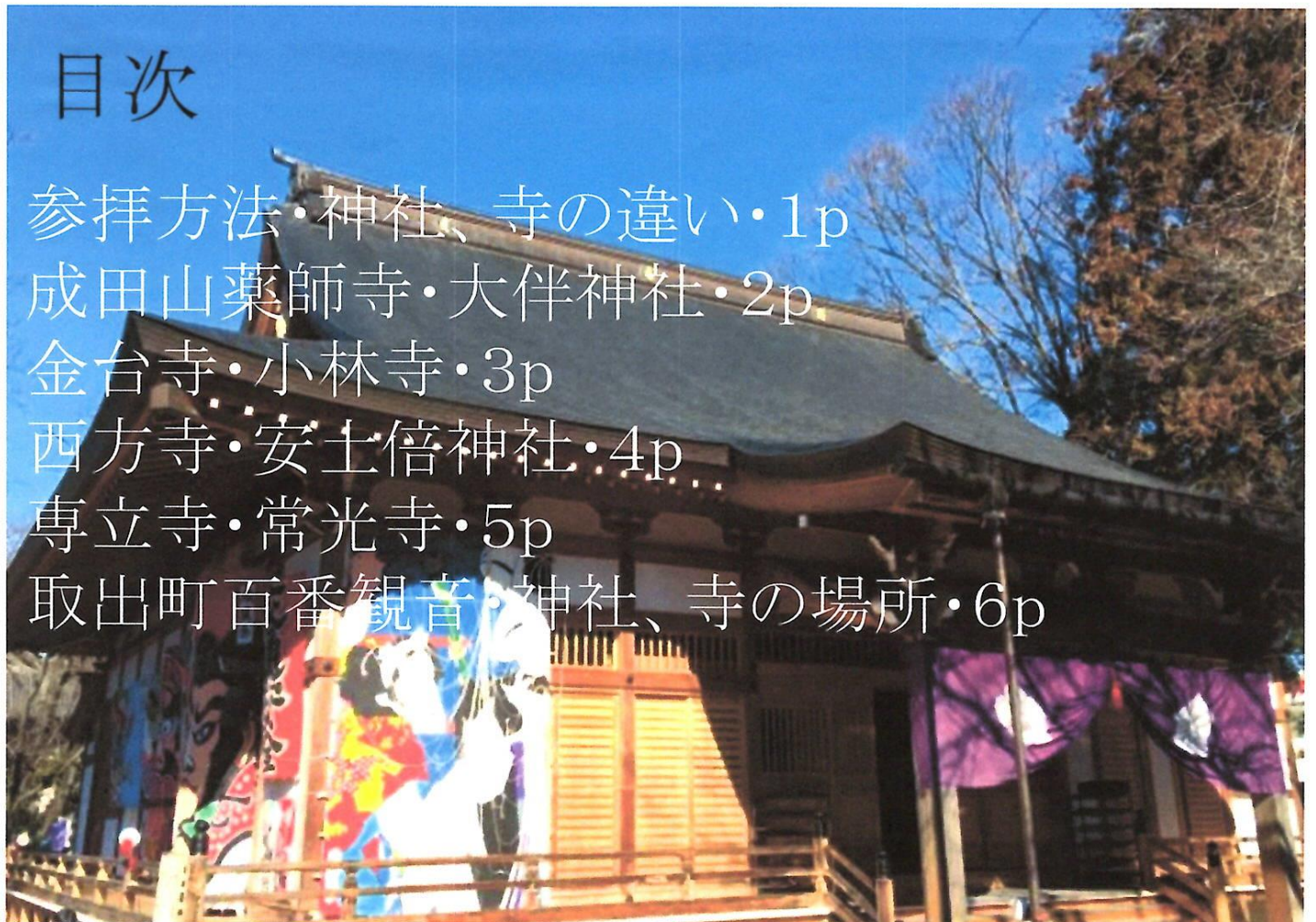
成田山薬師寺・大伴神社・2p

金台寺・小林寺・3p

西方寺・安土倍神社・4p

専立寺・常光寺・5p

取出町百番観音・神社、寺の場所・6p



参拝方法 (さんぱいほうほう)

神社や寺はどのようにお参りすればいいのでしょうか。

神社の参拝方法

まず入り口となる鳥居の前で一礼し、参道を歩いて拝殿へと向かいます。お参りの前に手水舎で手と口を清めてから、拝殿の前に立って、お賽銭を入れます。そして、鰐口を鳴らして神様を呼びます。その後は「二拝二拍手一拝」を行います。深いお辞儀を二回したら二回拍手をし、最後にもう一度お辞儀をします。お願い事がある場合は、その後にもう一度手を合わせてゆっくりと祈りましょう。

引用元

<https://thegate12.com/jp/article/353>

寺の参拝方法

お寺も、神社と途中までは同じです。ちがうのは山門の敷居を、踏まずまたぐようにしましょう。本堂に行く途中に常香炉ある場合、線香の煙を浴びて心身を清めよう。本堂で御本尊の仏像のまえに立ったらお賽銭を入れてお参りをしよう。ここが神社と異なるポイントです。寺では拍手をせず、静かに手を合わせる「合掌」をして心のなかでお祈りします。お祈りが終わったらお辞儀をして帰りましょう。

引用元

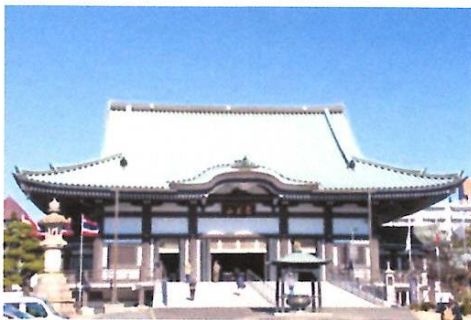
<https://thegate12.com/jp/article/353>

お寺と神社の違いって？

宗教施設から見るお寺と神社の違い

神社は、日本発祥の民俗宗教である「神道」の宗教施設で、自然や「古事記」「日本書紀」に登場する古代の神々や皇族などを祀っている。仏教と大きく違うのは、教祖や経典がなく、また像を信仰の対象としていないこと。死を汚れとしているのでお墓はなく、お葬式も行われぬ。神に仕える神主や巫女が「祭祀」を行い、神々と民衆をつなぐ役割を持っている。

お寺は仏教のための宗教施設で、僧侶や尼僧が住み、仏道の修行を行っている。本殿には「本尊」と呼ばれる仏像や曼荼羅が据えられ、信仰の対象となっている。本尊以外の仏像や掛け軸なども祀られ、文化を保存・継承する場となっているお寺もある。かつてお寺は仏の教えを民衆に伝え、民衆の苦しみを救う教育と福祉の場で、生活の中心にあった。



お寺



神社

成田山薬師寺(やくしじ)

商店街をぬけると見えてくる薬師寺。その中にはお守りやおみくじがありまるで、旅行に来た人をさそっているみたいだ。写真を見ると大きな本堂がある。そこで春になると桜がきれいになり美しく見える。その中には**聖徳太子**の像もある。**きれいな桜**,**ぴんころ地蔵**がある薬師寺にぜひ行って見てはどうでしょうか？



大伴神社(おおともじんじや)



広い公園の端(はし)にそっとたたずむ、大伴神社。元々、複数あった社(やしる)が、1つにまとまったようです。主祭神は、天照大神の使いに負け、長野に逃げてきた「**建御名方神(たけなかのみこと)**」。祀られている境内も、子供に人気な公園内にあります。夏には、野沢祇園祭で、とてみにぎわい、大人も子供も神輿をかつぎます。公園は、春には桜、秋には紅葉(こうよう)が見られます。ぜひ行ってみてください。

金台寺（こんだいじ）



商店街の真ん中しずかにたたずむ金台寺は、ひっそりとした静かな所だが、庭は広く自然の空気を感じられる。季節によって花が咲いているかもしれないので行ってみてはどうでしょうか。本堂の横には**一遍上人さんのお墓**と言われている物もあるのでそちらも行ってみてはどうでしょう。

中込山 小林寺

とても大きな山門が出迎える中込山小林寺。中込山は1560年に**武田家の家臣により開基された**。当時は寺院と言うよりは、祈願所と云うべきものだったと思われる。元和1年には**小林寺第一世住職として開山し、1673年に真言宗智山派総本山智積院の末寺となった**。1713年には荒廃した寺院を整備、再建をした。1742年の戌の満水で寺院などが被害を受けたがその都度、信徒たちの尽力により修復を繰り返しながら整備され現在に至っている。

中込山小林寺に是非！！



西方寺

山門を越えると見えてくる、この景色。

[西方寺歴史]

西方寺縁起西方寺は建久年間(1190年～1198年)鎌倉笹目ヶ谷に創建され、開山は醍醐三宝院座主(だいがじさんぼういんざしゅ)、奈良東大寺の別当の勝賢僧正(しょうけんそうじょう)。のちに北条重時が忍性菩薩を招き鎌倉に極楽寺を創設すると一緒に極楽寺の一山の中に移された。

極楽寺は施薬院など医療施設をも含む広大な大伽藍(だいがらん)だったが、戦禍や戦災に遭い、その多くを失い、時代も足利の時代になり、縮小され、西方寺も当時新羽に移建された。このような綺麗な景色を見て、実際に西方寺に行ってみてはどうでしょう？



安土倍神社(あとべじんじゃ)

夏には涼しく秋には紅葉と、季節によって特徴が違ふ。遊具があり、子供も楽しめるような田舎ならではの神社。まるで人々を誘っているように。写真を見て分かるように大きな木がある。この木は最初にある通り夏には日陰になり涼しくなる。秋には大きな紅葉が見れる。建物自体は小さいが、中は色鮮やかで綺麗な創りになっている。大きな木、ベンチ、遊具と誰もが気に入る安土倍神社。一度でも行ってみてはどうでしょうか。



専立寺(せんりゅうじ)



取出町にひっそりと建つ専立寺。入り口にある門は少し大きめの造りになっている。けれど中にある寺院の方が大きい。寺院には大きな仁王門が建っており、それなりの迫力がある。実際に見に行ってはどうか。専立寺では書道などの習い事もできる。景色もきれいで、撮影にもむいている。もし見かけたり行ってみたいと思うなら、ぜひ立ち寄って欲しい。

常光寺(じょうこうじ)

これは常光寺の本堂前。

常光寺の文字が逆になっているのが読みづらい人もいます。

文字が逆になっているのは理由があります。



ここは当初「新堂寺」と称されていて、室町時代、足利義満から自筆の「初日山」「常光寺」と額が納められたそうです。

これが常光寺の門。

常光寺の門の前には砂利があつてあるきやすくなっています。



新しい発見を見つけに行ってみたらどうでしょう。

取出町百番観音堂



取出町の一面にたたずむ百番観音は、佐久市有形文化財。創建年代は江戸時代までさかのぼるもの。観音堂が北向きに建てられているが、それは北向きには特に災厄を払う大きな霊力があると信じられていたからだ。

現在観音像は、一体足りない九十九体であるが、中には寛保2年(1742年)のものがあるのでその前後に造られたものと考えられる。

観音様の紹介



聖観音像
変化観音の生まれる前の基本となる観音。頭上に阿弥陀如来の化仏を持つ。



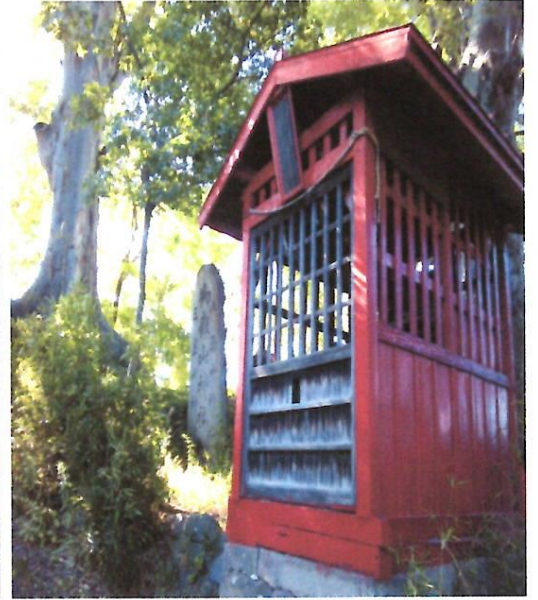
十一面観音像
頭上に11面の顔を持つ。
慈悲面、忿怒面、牙をもつ面がある。

これまでの神社・寺住所一覧

- 1, 成田山薬師寺 〒385-0052 長野県佐久市原467
- 2, 大伴神社 〒385-0053 長野県佐久市野沢110
- 3, 金台寺 〒385-0053 長野県佐久市野沢 十二町106
- 4, 中込山少林寺 〒385-0051 長野県佐久市中込石神660
- 5, 西方寺 〒385-0054 長野県佐久市跡部424
- 6, 安土倍神社 〒385-0054 長野県佐久市大字跡部字下町屋384
- 7, 専立寺 〒385-0043 長野県佐久市取出町400
- 8, 常光寺 〒385-0043 長野県佐久市取出町230
- 9, 百番観音堂 〒385-0043 長野県佐久市取出町317

あなたもぜひ美しい佐久市の

神社・寺の旅へ



ありがとうございました
手にとつてくださり



制作／佐久市立野沢小学校
6年2組神社・寺グループ